

大学での研修 実際のところ

腎臓内科A 3年目

部活:バドミントン部。内科に興味を持って入局は初期研修をまわってからと考えていた。ポリクリでは日赤の腎臓内科をまわりシャント作りや腎生検にはじめて触れ興味を持った。大学病院にしかない科をまわることがメリットと考え、大学病院を中心として研修。



神経内科S 3年目

部活:軟式テニス部。6年生の全医体までやりきった。全身を診られて、長く患者さんと付き合える内科に興味があった。初期研修2年間は、じっくり考えながら研修できる大学病院を選択した。



同じ内科志望だがそれぞれ在学中に志望科は決めず、卒業後は大学病院での研修をスタート。

1年目

麻酔科では病棟でも活躍するビデオ喉頭鏡の腕を磨きに。

皮膚科で褥瘡・皮疹を学んだ。その後まわる科で役立った!

麻酔科



神経

初めての患者は足の親指が動かない人。一生懸命診察して診断できた時は感動した! 7東記録室の片隅で楽しく過ごす。研修医発表でもお世話になった。



機器がそろっておりバックアップ体制も充実しているため、手技を多く経験できた。腎臓内科は他疾患と繋がる病態を考えるのが面白く病理を見るのも楽しかった。忘年会にも参加し仲間がいるっていいなと実感→



内科血液膠原腎臓

同期が多かったため、わからないことを研修医室で質問したりはげましました。

救急



救急科では治療方針について毎日ディスカッションした。悔しくてたくさん勉強した。

麻酔科では必須手技の挿管を60件以上経験した。

皮膚科では縫合の基本を教えてもらった。



救急ローテーションでは自分で判断することが増え忙しいが力がついた。

救急

勉強会やルート練習など活動は年々活発に。

糖尿病

病棟だけでなく外来もみせてもらい糖尿病や消化器の奥深さのほんの一端を学んだ。進路もとても悩んだ。



腎臓内科の活躍の幅広さを知り、今後さらに興味を持っていけそうだと考え入局を決めた。大学にしかない科をまわることができ、選択肢を広げられたことが大きかった!



神経内科の局在診断の楽しさやグループの先生方の人柄をみて、一緒に働けたらうれしいと思った。第一内科なら全身を診たいという理想も叶えられる!

同じ時期に入局!!

入局後は腎臓内科のスタートとしてアドバイスをもらった二年目の研修先を調整した。地域研修としては道立羽幌病院、また透析を学ぶべくリハビリテーション病院、北彩都病院での研修各一か月を勧めた。研修指定病院にはなっていないが、個別にお願いし受け入れてもらえることに。

2年目も大学病院

2年目は外病院にも

旦那も7内同期。神経内科ローテ時ハワイで拳式。早く送り出してもらえ、大変ありがたかった! 家族を連れて親孝行もできた。

道立羽幌病院ではじめての一般内科外来。地方では患者はいるが透析専門医がおらず一般内科や外科の先生たちが兼任で管理している。地域の現状を学んだ。腎臓内科はまだ少なく需要があると実感。



地域

大学では透析は入院患者のみであり、外来での維持透析を学ぶのは貴重な機会だった。透析の患者さんは検査の基準値や目標値も独特で、合併症や急変時の対処法を学べたことは大きかった。



リハビリテーション病院



腹膜透析外来や、シャント手術、腹膜透析のチューブを留置する手術を見学させて頂いた。型にはまらない研修ができることは大学ならではの強み。透析回路を自分で組んだり、週1で透析管理のコツについてマンツーマンの特別講義を頂いたり、透析管理について重点的に学んだことはその後の仕事に大変役立っている。

北彩都病院

神経循環腎臓膠原病

循環器内科ではACSや心筋症など幅広い症例を経験した。腎臓内科では難しい分野を丁寧に教えてもらった! 一内当直で呼ばれても困らないようにと思い、どきどきしながら研修した。

膠原病内科と神経内科は同じ疾患をみることも多く実践的な勉強ができた。放射線科では1か月で全身CTを170件読んだ。IVRも楽しかった!

礼文でドクターヘリを呼んだ。地域と都市部の連携の大切さを実感。



放射



礼文島の船泊診療所で毎日内科外来を担当。専門科は海を渡らなければ無いという限られた状況で、勉強の連続だった。家族だと思えばなんでもしてあげられるという所長の人柄の素晴らしさが印象的だった。

地域



学会

広島や新潟の学会に参加させてもらった! たくさんの刺激を受けて診療も研究も頑張りたいと思える場所だった。



救急科で発表させてもらった。たくさん質問してもらって嬉しい。

そして3年目現在

同じ大学病院勤務中

お世話になった北彩都病院、関連病院の仁友会クリニックに出張。各科に同期がいるためコンサルトしやすく、1内同期とは若手で焼き肉に行ったり楽しい! 最近では、MKSAPというアメリカの総合診療の問題集を同期+研修医・興味のある学生さんと勉強している(興味のある人はぜひ)。6月には腎臓内科学会(横浜)へ行き勉強させて頂いた。今後演題発表も考えており、相談ののってくれる先生がたくさんいてアドバイスを受けやすい環境が大変有り難い。



専門1年目でわからないことはわかりだけど、神経内科の先生方に丁寧に教えてもらいながら頑張っている。一内同期は循環、呼吸、腎臓、神経すべて揃っていて相談しやすい。各科にもたくさん同期がいてよかった! 専門、総合内科、研究...色んなやりたいことがあるけど、各分野で活躍する先生方がいるので、どの道を選んでも安心して勉強できると思う。

仕事の合間に同期と遊びに行ったり飲みに行ったり。



早めのスタートを切りたい人・選択肢を絞りきれない人、どんどん相談してください! みなさんと一緒に仕事できたらうれしいです。待ってます!